



なは市民の友

第715号 毎月1回発行
2010年(平成22年)
8月

市の人口と世帯	
※()内はうち外国人	
2010(平成22)年6月末現在	
総人口	318,006(2,120)
男	153,448(1,077)
女	164,558(1,043)
世帯数	135,597(1,284)
住民基本台帳人口の内訳(外国人を除く)	
本 庁	95,469
真和志	104,391
首 里	57,969
小 緑	58,057

発行●那覇市 編集●秘書広報課
〒900-8585 那覇市上之屋1丁目2番1号
☎867-0111 ●印刷 椋池宮商会



新庁舎のイメージ

新庁舎建設が本格的にスタート!(平成24年秋完成予定)

那覇市新庁舎 建設工事安全祈願祭

7月8日(木)に、「那覇市新庁舎建設工事安全祈願祭」が泉崎にある市役所本庁舎建設予定地で行われ、新庁舎建設工事に携わる業者や市役所関係者が集まり、建設工事の安全を願いました。

新庁舎建設は平成18年に計画をスタートさせ、市民アンケートやワークショップなどを実施し、基本構想、基本計画、設計と順調に作業を進めてきました。工事発注は、地元企業への優先発注と分離分割発注を導入し、常に地元根ざした取り組みを行ってきました。

新庁舎は、現在分離している銘苅庁舎、教育委員会を統合し、総合庁舎として市民サービスの向上や、行政の事務効率の向上を図ります。これから約2年3か月の工事期間を経て、2012年秋に完成予定です。地上12階、地下2階の鉄筋コンクリート造りで、自動車約230台収容できる地下駐車場を完備。自転車、オートバイもそれぞれ約120台の駐輪場を設けます。また、免震構造の採用により、大規模地震に耐える施設となります。

翁長市長は「本工事は、小学校や住宅地が隣接する狭い敷地で行われますので、安全面に十分留意し、無事に新庁舎落成を迎えられるよう、工事を進めてください」と工事関係者に安心、安全を呼びかけました。

主な紙面

- 2 作ってみよう!新聞紙でマイバッグ
- 3 生涯学習メニューブック
- 4 終戦記念日特集 平和祈念と平和学習のための那覇市戦跡マップ
- 5 情報PACK
- 6
- 7

協働のまちづくり なは市民協働大学 那覇を紡ぐ



「協働」とは、まちづくりのために市民・事業者・市民団体・行政などが、それぞれの特性を發揮しながら協力しあうことです。

6月25日(金)、第2回なは市民協働大学が行われました。第2回の講座では、協働大学基礎講座として、那覇市の財政状況と今後のまちづくりがテーマでした。講師の翁長市長は、国からの補助金の交付方法や、市の予算の枠組みについて説明。続いて、市の総予算がどのように配分されているのか、具体的な事例を挙げながら講義が進行しました。

「人と人が支えあつてゆく協働によるまちづくりが、財政の話とどう関連するか理解というよりも肌で感じてもらいたい」と前置きし、「市の予算は、基本的にみなさんの家計と同じ。那覇市の将来を考えると教育の分野も健康の分野も大事だし、環境問題にも取り組まなければならない。また、福祉を充実させていくことも大切。限られている予算の中で最大限の効果を発揮するためには、心を鬼にして、事業を廃止しなければならない場面もあつた。」と予算編成の苦悩にも言及しました。

第2回なは市民協働大学

講座の終盤では、市長の講話を聞いた受講生の「思ったこと」「気づいたこと」「聞きたこと」へ、市長がコメントをしながら市の財政の仕組みや、協働によるまちづくりに関する理解を深めました。

協働大学は、第3回から協働に関するグループワークなど、より実践的な講座が続き、最終13回の成果報告会で終了式を迎えます。



市長講話を聞いて話し合い

このように総合的に判断し、最善を尽くしても、行政がやれることは